

センター試験 受験上の最終注意！

当日の天気も頭に入れて、早めに試験場に到着するようにしましょう。センター試験は必ず指定された試験場で受験すること。試験場を間違えると受験できないので、道順・所要時間等を確認して、下見をしておきましょう。20分までは遅刻が認められますが、交通機関の事故やトラブルなど自分の責任でない理由で遅刻してしまった場合は、係員に遅れた理由を伝えます。

① 鉛筆は何本持っていけばいい？

10本ほど準備しておきましょう。H、F、HBに限ります。芯があまりとがっているとマークしづらいので、事前に丸めておくとういでしょう（削りの程度を何段階かに調整できる鉛筆削りもあります）。休み時間に多めに削っておくこと。シャープペンシルの使用は不可となっている（マークの読み取りが正確にできずにトラブルになることがある）ので注意してください。

② 消しゴムは何個持っていけばいい？

プラスチック製のものを3個ほど用意しておきましょう。カドのたくさんある消しやすい消しゴムもあります。新品ではなく少し使って慣らしておくことが重要です。試験場の机が斜めの場合、鉛筆が転がりやすいので、ストッパーに消しゴムを使うとういでしょう。

③ マークは大問ごとがよい？ マークミスにくれぐれも注意！ズレないように！（重要）

大問ごとでも1問ごとでも、自分に合っていればどちらでもよいでしょう。時々問題番号とマークする番号が一致しているかの確認すること。受験番号・氏名・試験場コード・解答科目等のマークも忘れないように！（監督者より確認もあります。）問題冊子に複数科目が掲載されている場合は特に注意が必要です。また、自己採点用に問題冊子に答えの転記も忘れないようにしましょう！

④ 服装は？ 寒暖を調整できるように！

会場によっては相当暖房が効いているので、脱いで臨機応変に調整できる服装がよいでしょう。同じ教室内でも暖房器具の位置により寒暖の差があります。

⑤ トイレの確認を！（重要）

試験場に着了いたら必ずトイレの場所を確認しておきましょう（複数箇所）。また、トイレは本当に混雑するので（特に女子）、試験場に着了いたらすぐに行っておきましょう。

⑥ アラーム設定は解除した？

試験中に携帯電話の着信音や時計のアラーム

が鳴ることのないようにしましょう。携帯電話は試験室に入る前に、アラーム設定を解除し、電源を切ってかばんに入れておくようにしましょう。アラームは、設定を解除しないと電源を切っても鳴ることがあるので十分注意すること。

⑦ 終了（監督者の指示）と同時に鉛筆を置く！

指示に従わないと、不正行為とみなされ、答案が無効になります。

⑧ 長い休み時間の使い方を有効に！

- 控え室を上手に使う、最後の最後まで勉強する。参考書・ノート類も忘れずに持っていく。空き時間は次のテストに向けての「自己調整」と心得よう！
- 前の試験の出来・不出来は忘れて、次の試験に頭を切り替えよう！
- できれば、リスニングテストの前は各自英語を聞いて、英語のリズムに慣れておこう。

★終わったら個別学力試験に向けて、気持ちの切り替えを！

◎ 受験票・写真票は持った？

※再発行可能なので、万が一忘れても取りに帰らない。

当日の所持品
① 受験票・写真票 ★個別学力試験や入学手続きの際にも必要なので、大切に保管すること。
② 黒鉛筆（H、F、HBに限る）
③ プラスチック製の消しゴム
④ 鉛筆削り（電動式を除く）
⑤ 時計 ★時計の電池は大丈夫？ 携帯・時計のアラームに注意。
⑥ 当日の試験科目の参考書など
⑦ 昼食
⑧ 交通費などのお金
⑨ 受験票に「上履き持参」と表示してある場合は、上履きと下履きを入れる袋

※年度によって内容が変更となる場合もあるので、詳しくは大学入試センターの受験案内や受験上の注意等を確認してください。